

すみれ通信

6月号

(第132号)

すみれ通信は、医療・介護に携わる方に
発信しています今年度**在宅医療・介護連携 事例発表会**を開催します

「その人らしく輝ける場でその人らしく生活できるように」と、在宅医療の現場で日々頑張っておられる医療・介護関係者の皆様の日々の活動は、素晴らしい実践知です。それらを多職種で共有し、学びあい、つながる場があればと考えて企画しました。ぜひ皆さまの実践知をご発表下さい。

在宅医療の現場から



株式会社ヘルスプラン在宅支援室

長嶋 宏幸



株式会社ヘルスプラン在宅支援室の長嶋です。今の会社に入社して以来、在宅医療に携わり約9年が経過しました。開始当初は右も左も分からず手探りの状態でしたが、多職種の方々に支えられ、今日まで歩んでこられたことに深く感謝申し上げます。

弊社では現在5店舗の薬局を運営しており、私は「在宅支援室」という独立した部署に所属しています。外来業務から切り離された専任体制を敷くことで、藤沢市内全域を中心に、茅ヶ崎市や綾瀬市の一部まで広範囲をカバーしています。この体制の最大の強みは、急な処方変更や臨時往診、医師への同行など、在宅特有のニーズに対して「即時対応」ができる点にあります。現在は薬剤師4名で約150件の患家を担当し、24時間365日のオンコール体制を構築。夜間や休日であっても、患者さんやご家族の不安を速やかに解消できる環境を整えています。

正直に申し上げれば、24時間体制の維持は決して楽なことではありません。しかし、それでも走り続けられるのは、医師や看護師、そして患者さんからの「ありがとう」「助かりました」という言葉があるからです。その一言で、すべての苦勞が報われ「また明日も頑張ろう」と心から思えるのです。今の時代、仕事のやりがい語ることは少し気恥ずかしく、あるいは時代にそぐわないと思われるかもしれませんが、在宅医療は患者さんや他職種との距離が極めて近く、血の通った交流が不可欠な「人間臭い」仕事です。相手を想う「おせっかい」なまでの温かさが、誰かの生活を支える力になると信じています。

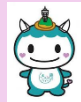
「One for all. All for one.」——会社や職種の垣根を超え、一人の患者さんのために全員が一丸となって動く。これほどやりがいのある仕事は他にありません。今後も「藤沢で在宅といえばヘルスプラン」と認知していただけるよう、全力を尽くしてまいります。多職種の先生方との交流や担当者会議、退院時カンファレンスへの参加など、ぜひ積極的にお声がけいただけますと幸いです。この熱い思いを、皆様と共に形にしていけることを願っております。

日時：令和9年2月17日(水) 19:00~20:30

場所：藤沢市医師会館 2階ホール

対象：在宅医療・介護に関わる多職種の皆様

参加費：無料



発表内容：在宅医療・介護の現場での実践知の発表

【例】・多職種連携での成功例

- ・多職種連携の工夫や学び
- ・困難ケースから得られた学び
- ・ACPの取り組み
- ・その他 地域包括ケアに関する取り組み 等

発表者：藤沢市内で在宅医療・介護に携わる人
(職種問わず)

詳細につきましては藤沢市医師会ホームページの在宅医療支援センターに掲載いたしますので、ご覧ください。

2026年度多職種研修会・市民公開講座について

【在宅医療・介護連携多職種研修会】場所：医師会館2階
年間5回開催予定日(変更となる場合もあります)

- ・第1回 6月17日(水) 19:00~20:40
知ろう、感じよう、考えよう「なぜACPが大切か」
- ・第2回 7月16日(木)
- ・第3回 9月17日(木)
- ・第4回 11月17日(火)
- ・第5回 1月19日(火)



【市民公開講座】開催予定(変更となる場合もあります)

- ・第1回 5月31日(日) 市役所
- ・第2回 9月5日(土) 湘南台市民センター
- ・第3回 11月予定
- ・第4回 1月17日(日) 市役所



それぞれ研修会や市民公開講座は詳細が決まり次第、藤沢市医師会ホームページの在宅医療支援センターに掲載いたします。また、すみれ通信でもお知らせいたします。

皆様のご参加をお待ちしています。ご意見等ございましたら在宅医療支援センターまで、お声掛けください。

